



## 2020年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月5日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 2020年3月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年10月期第1四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	7,835	11.0	82	30.5	119	13.7	109	32.6
2019年10月期第1四半期	8,806	2.0	118	19.6	104	28.9	82	

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 109百万円 ( %) 2019年10月期第1四半期 30百万円 (53.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	9.06	9.04
2019年10月期第1四半期	6.84	6.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期第1四半期	20,520	3,383	16.3	277.16
2019年10月期	21,528	3,273	15.1	268.14

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 3,349百万円 2019年10月期 3,240百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期		0.00		0.00	0.00
2020年10月期					
2020年10月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,400	8.8	155	51.2	126	56.9	107	9.4	8.85
通期	28,700	8.0	222	27.6	175	13.4	151	11.1	12.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期1Q	12,688,000 株	2019年10月期	12,688,000 株
期末自己株式数	2020年10月期1Q	603,480 株	2019年10月期	603,480 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期1Q	12,084,520 株	2019年10月期1Q	12,084,520 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦や英国のEU離脱等、海外の政治経済の不確実性が懸念されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、消費税増税による消費者マインドへの影響、天候不順や度重なる自然災害、業界の垣根を越えた販売競争の激化、人件費や物流費の高騰等、厳しい状況が続いております。

特に自然災害につきましては、2019年10月に襲来した台風19号により、当社の運営する蔦屋書店東松山店が甚大な被害を受け休店しておりましたが、2019年12月27日より営業を再開いたしました。

一方で、蔦屋書店塩尻店が道路拡張工事の影響により、T S U T A Y A 町屋店が周辺地域の開発計画の影響により、いずれも2020年1月に閉店いたしました。これによりグループ店舗数は76店舗となりました。

また、売上の半分を占める書籍につきましては、独自のシステムを導入し、売上予測や在庫管理等をより効率的に行い、売上をさらに獲得するべく運営体制の改善を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,835百万円（前年同期比89.0%）、営業利益82百万円（前年同期比69.5%）、経常利益119百万円（前年同期比113.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益109百万円（前年同期比132.6%）となりました。

#### 売上・利益の増減要因

売上面につきましては、テナントの誘致等を積極的に行った結果、賃貸不動産収入は好調に推移しましたが、自然災害による一時的な休店や、周辺地域の開発に伴う閉店等により、店舗数そのものが前期に比べて減少し、当社グループの軸である蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は88.8%となりました。

利益面につきましては、既存店にてセルフレジの導入拡大及び運用強化、店舗照明のLED化の推進等を行った結果、販管費は前期に比べて減少しました。一方で、東松山店の休店期間中の固定費の発生が影響し、営業利益は前年同期比30.5%減少し82百万円となりましたが、経常利益は前年同期比13.7%増加し119百万円となりました。さらに、法人税等が前年同期比12.3%と減少した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比32.6%増加し109百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

なお、第35期連結会計年度末より、従来「その他」に含まれていた「スポーツ関連事業」及び「訪問看護事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、これに合わせて前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成しております。

#### ①蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,650百万円（前年同期比88.8%）、セグメント利益は65百万円（前年同期比59.1%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍94.1%、特撰雑貨・文具86.7%、レンタル74.5%、ゲーム・リサイクル65.2%、販売用CD76.8%、販売用DVD84.6%、賃貸不動産収入112.2%となりました。

#### ②スポーツ関連事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高49百万円（前年同期比99.1%）、セグメント損失5百万円（前年同期セグメント損失8百万円）となりました。

#### ③訪問看護事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高18百万円（前年同期比495.5%）、セグメント利益0百万円（前年同期セグメント損失7百万円）となりました。

#### ④その他

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高118百万円（前年同期比82.2%）、セグメント利益2百万円（前年同期比94.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比1,008百万円減少し、20,520百万円となりました。これは主に現金及び預金、未収入金の減少により流動資産が796百万円、リース資産、建物及び構築物、敷金及び保証金等の減少により固定資産が211百万円、それぞれ減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比1,117百万円減少し、17,137百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が531百万円、買掛金が301百万円、リース債務が102百万円、未払金が61百万円、未払法人税等が53百万円、それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比109百万円増加し、3,383百万円となりました。これは主に、利益剰余金が109百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年12月6日に公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,254,888	983,586
売掛金	339,050	331,310
商品	8,709,153	8,569,349
前払費用	304,635	313,911
未収入金	533,853	147,055
その他	24,018	23,444
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	11,165,196	10,368,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,013,065	1,970,577
土地	1,423,759	1,423,759
リース資産(純額)	3,022,857	2,949,490
その他(純額)	256,009	235,151
有形固定資産合計	6,715,692	6,578,980
無形固定資産		
その他	52,576	52,787
無形固定資産合計	52,576	52,787
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,136,165	3,074,241
その他	458,804	446,093
投資その他の資産合計	3,594,970	3,520,335
固定資産合計	10,363,238	10,152,102
資産合計	21,528,434	20,520,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,877,938	2,576,359
短期借入金	3,500,000	3,502,500
1年内返済予定の長期借入金	1,887,059	1,781,365
リース債務	491,504	490,010
未払法人税等	87,642	33,658
賞与引当金	47,000	24,000
未払金	431,082	369,543
その他	334,163	302,295
流動負債合計	9,656,390	9,079,732
固定負債		
長期借入金	3,737,494	3,312,095
リース債務	3,907,863	3,807,130
資産除去債務	569,874	560,104
退職給付に係る負債	67,771	67,771
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期未払金	47,513	43,386
長期預り敷金保証金	204,534	203,600
その他	579	381
固定負債合計	8,598,571	8,057,411
負債合計	18,254,962	17,137,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,141	2,303,141
利益剰余金	△799,236	△689,718
自己株式	△270,027	△270,027
株主資本合計	3,241,246	3,350,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△857	△1,378
その他の包括利益累計額合計	△857	△1,378
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	24,833	25,577
純資産合計	3,273,472	3,383,212
負債純資産合計	21,528,434	20,520,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)
売上高	8,806,948	7,835,413
売上原価	6,147,908	5,491,749
売上総利益	2,659,039	2,343,664
販売費及び一般管理費	2,540,369	2,261,168
営業利益	118,670	82,495
営業外収益		
受取利息	4,590	4,037
協賛金収入	6,570	5,867
原子力立地給付金	7,381	567
受取補償金	—	63,313
その他	2,836	4,873
営業外収益合計	21,378	78,660
営業外費用		
支払利息	35,198	29,741
雑損失	—	600
収用に伴う閉店費用	—	11,645
営業外費用合計	35,198	41,987
経常利益	104,850	119,168
特別損失		
減損損失	13,527	1,624
特別損失合計	13,527	1,624
税金等調整前四半期純利益	91,322	117,543
法人税、住民税及び事業税	8,299	7,282
法人税等合計	8,299	7,282
四半期純利益	83,022	110,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	416	743
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,606	109,518



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	83,022	110,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,283	△521
その他の包括利益合計	△52,283	△521
四半期包括利益	30,739	109,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,322	108,996
非支配株主に係る四半期包括利益	416	743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業				
売上高							
外部顧客に 対する売上高	8,611,013	48,627	3,824	143,482	8,806,948	—	8,806,948
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	850	—	—	850	△850	—
計	8,611,013	49,477	3,824	143,482	8,807,798	△850	8,806,948
セグメント利益又 は損失(△)	111,524	△8,920	△7,548	2,215	97,270	21,400	118,670

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	蔦屋書店事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業			
減損損失	13,527	—	—	—	—	13,527

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業				
売上高							
外部顧客に 対する売上高	7,650,256	48,201	18,951	118,003	7,835,413	—	7,835,413
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	873	—	—	873	△873	—
計	7,650,256	49,075	18,951	118,003	7,836,287	△873	7,835,413
セグメント利益又 は損失(△)	65,960	△5,785	641	2,104	62,920	19,575	82,495

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	蔦屋書店事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業			
減損損失	1,624	—	—	—	—	1,624

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「スポーツ関連事業」及び「訪問看護事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 商品別販売状況

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	4,397,725	50.0	4,138,127	52.7	94.1
	特撰雑貨・文具	1,425,626	16.2	1,236,018	15.8	86.7
	レンタル	1,050,773	11.9	783,304	10.0	74.5
	ゲーム・リサイクル	560,549	6.4	365,335	4.7	65.2
	販売用CD	319,479	3.6	245,245	3.1	76.8
	販売用DVD	229,229	2.6	193,900	2.5	84.6
	賃貸不動産収入	130,476	1.5	146,427	1.9	112.2
	その他	497,152	5.6	541,898	6.9	109.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	8,611,013	97.8	7,650,256	97.6	88.8
スポーツ関連 事業	外部顧客に対する売上高	48,627	0.6	48,201	0.6	99.1
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	850	0.0	873	0.0	102.8
	計	49,477	0.6	49,075	0.6	99.1
訪問看護事業	外部顧客に対する売上高	3,824	0.0	18,951	0.2	495.5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	3,824	0.0	18,951	0.2	495.5
その他	外部顧客に対する売上高	143,482	1.6	118,003	1.5	82.2
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	143,482	1.6	118,003	1.5	82.2
合計		8,807,798	100.0	7,836,287	100.0	89.0

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。

4 第35期連結会計年度末より、従来「その他」に含まれていた「スポーツ関連事業」及び「訪問看護事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、これに合わせて前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成しております。